

# 千葉市感染症発生動向調査情報

2024年 第52週(12/23-12/29)、2025年 第1週(12/30-1/5)

## 1 定点把握対象感染症(五類感染症の一部)

| 定点               | 報告定点医療機関数 |      |      |      |
|------------------|-----------|------|------|------|
|                  | 第1週       | 第52週 | 第51週 | 第50週 |
| 小児科              | 18        | 18   | 18   | 18   |
| インフルエンザ/COVID-19 | 28        | 28   | 28   | 28   |
| 眼科               | 5         | 5    | 5    | 5    |
| 基幹               | 1         | 1    | 1    | 1    |

上段: 報告患者数、下段: 定点当たりの報告数

定点当たりの報告数: 報告患者数/報告定点医療機関数

| 定点            | 感染症                          | 発生<br>動向 | 12/30-1/5<br>第1週 | 12/23-12/29<br>第52週 | 12/16-12/22<br>第51週 | 12/9-12/15<br>第50週 |
|---------------|------------------------------|----------|------------------|---------------------|---------------------|--------------------|
| 小児科           | RSウイルス感染症                    |          | 0<br>0.00        | 3<br>0.17           | 5<br>0.28           | 0<br>0.00          |
|               | 咽頭結膜熱                        |          | 0<br>0.00        | 0<br>0.00           | 1<br>0.06           | 1<br>0.06          |
|               | A群溶血性レンサ球菌咽頭炎                | ↓        | 2<br>0.11        | 37<br>2.06          | 49<br>2.72          | 31<br>1.72         |
|               | 感染性胃腸炎                       | ↓        | 19<br>1.06       | 93<br>5.17          | 112<br>6.22         | 104<br>5.78        |
|               | 水痘                           |          | 0<br>0.00        | 6<br>0.33           | 4<br>0.22           | 3<br>0.17          |
|               | 手足口病                         |          | 1<br>0.06        | 9<br>0.50           | 27<br>1.50          | 36<br>2.00         |
|               | 伝染性紅斑                        | ↓        | 2<br>0.11        | 19<br>1.06          | 20<br>1.11          | 11<br>0.61         |
|               | 突発性発しん                       |          | 0<br>0.00        | 8<br>0.44           | 9<br>0.50           | 4<br>0.22          |
|               | ヘルパンギーナ                      |          | 0<br>0.00        | 1<br>0.06           | 0<br>0.00           | 0<br>0.00          |
|               | 流行性耳下腺炎                      |          | 0<br>0.00        | 1<br>0.06           | 1<br>0.06           | 0<br>0.00          |
|               | インフルエンザ<br>(高病原性鳥インフルエンザを除く) | ↓        | 120<br>4.29      | 1501<br>53.61       | 957<br>34.18        | 382<br>13.64       |
| COVID<br>インフル | 新型コロナウイルス感染症                 | ↓        | 14<br>0.50       | 84<br>3.00          | 70<br>2.50          | 44<br>1.57         |
|               |                              |          |                  |                     |                     |                    |
| 眼科            | 急性出血性結膜炎                     |          | 0<br>0.00        | 1<br>0.20           | 1<br>0.20           | 0<br>0.00          |
|               | 流行性角結膜炎                      |          | 0<br>0.00        | 2<br>0.40           | 0<br>0.00           | 1<br>0.20          |
| 基幹            | クラミジア肺炎<br>(オウム病を除く)         |          | 0<br>0.00        | 0<br>0.00           | 0<br>0.00           | 0<br>0.00          |
|               | 細菌性髄膜炎<br>(髄膜炎菌性髄膜炎を除く)      |          | 0<br>0.00        | 0<br>0.00           | 0<br>0.00           | 0<br>0.00          |
|               | マイコプラズマ肺炎                    | ↓        | 0<br>0.00        | 1<br>1.00           | 1<br>1.00           | 3<br>3.00          |
|               | 無菌性髄膜炎                       |          | 0<br>0.00        | 0<br>0.00           | 0<br>0.00           | 0<br>0.00          |
|               | 感染性胃腸炎<br>(ロタウイルスに限る)        |          | 0<br>0.00        | 0<br>0.00           | 0<br>0.00           | 0<br>0.00          |
|               | インフルエンザ入院                    | ↑        | 10<br>10.00      | 5<br>5.00           | 1<br>1.00           | 2<br>2.00          |
|               | 新型コロナウイルス感染症入院               | ↑        | 9<br>9.00        | 5<br>5.00           | 5<br>5.00           | 1<br>1.00          |

「発生動向」欄のマークについて

＜流行状況＞

★: 「警報レベル」流行発生警報開始基準値以上(終息基準値を下回るまで継続表示)

★: 「注意報レベル」流行発生注意報基準値以上

※警報レベル・注意報レベルについては、市感染症情報センターWebSiteの「警報・注意報の解説」のページをご覧ください。

[https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/iryoisei/khoken/kkagaku/idsc/teiten\\_kiun.html](https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/iryoisei/khoken/kkagaku/idsc/teiten_kiun.html)

＜増減＞: マークの対象は当該週又は前週の定点当たりの報告数が1.00以上

↑・↓: 「増加・減少」定点当たりの報告数が前週より5%を超えた増加または減少

2 全数報告対象感染症 10 件 (2024年第52週) ※ 累積数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

| 感染症            | 性別 | 年齢層   | 感染症        | 性別 | 年齢層  |
|----------------|----|-------|------------|----|------|
| 結核（無症状病原体保有者）  | 男  | 30歳代  | 侵襲性肺炎球菌感染症 | 女  | 90歳代 |
| E型肝炎           | 男  | 50歳代  | 梅毒         | 女  | 20歳代 |
| 急性脳炎           | 女  | 10歳未満 | 梅毒         | 女  | 20歳代 |
| 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 | 男  | 70歳代  | 梅毒         | 男  | 40歳代 |
| 侵襲性肺炎球菌感染症     | 女  | 70歳代  | 百日咳        | 女  | 10歳代 |

2024年第52週は、結核1件(156)、E型肝炎1件(13)、急性脳炎1件(17)、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1件(9)、侵襲性肺炎球菌感染症2件(12)、梅毒3件(74)、百日咳1件(8)の発生届があった。  
2025年第1週は発生届がなかった。

3 定点当たり報告数 第1週のコメント

※例年、大型連休中は多くの医療機関が休診していることから、報告は減少傾向にあります。

<感染性胃腸炎>

2024年第52週は第51週より減少し5.17となった。2025年第1週は減少し1.06となった。過去5年の同時期と比べるとやや少なく、年齢階級別の報告数は1歳及び2歳が最多。

<インフルエンザ>

2024年第52週は第51週より増加し53.61となった。2025年第1週は減少し4.29となった。年代別の報告数は0-9歳が最多で、10歳未満では8歳が最多。(下記トピック参照)

<インフルエンザ入院>

2024年第52週は第51週より増加し5.00となり、2025年第1週は更に増加し10.00となった。

■ 各感染症のグラフは、市感染症情報センターWebSiteでご覧いただけます。

<https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/iryoisei/khoken/kkagaku/idsc/documents/graph2025.pdf>

■ トピック ■

<インフルエンザ>

全国の第52週の定点当たり報告数は、前週より増加し64.39となり、過去5年の同時期と比べると最多となりました。都道府県別では、大分県(105.00)が最も多く、次いで鹿児島県(96.40)、佐賀県(94.4)の順となっています。千葉県は78.52で関東地方では最も多く、全国レベルと比べると多くなっています。

千葉市の2024年第52週は前週(第51週、34.18)より増加し53.61となり過去5年の同時期と比べると最多となりました。2025年第1週は前週より減少し4.29となりましたが、入院患者数の定点当たりの報告数は前週より増加し10.00となり、過去5年の同時期と比べると最多となっている状況などから、流行が継続している又は拡大していることが考えられます。入院患者数の報告数は直近4週で増加傾向となっています。2025年第1週は、年代別では全員が40歳代以上であり、70歳代及び80歳代が80%を占めています(図1、図2)。

図1 年別・定点当たりの報告数（インフルエンザ入院患者）

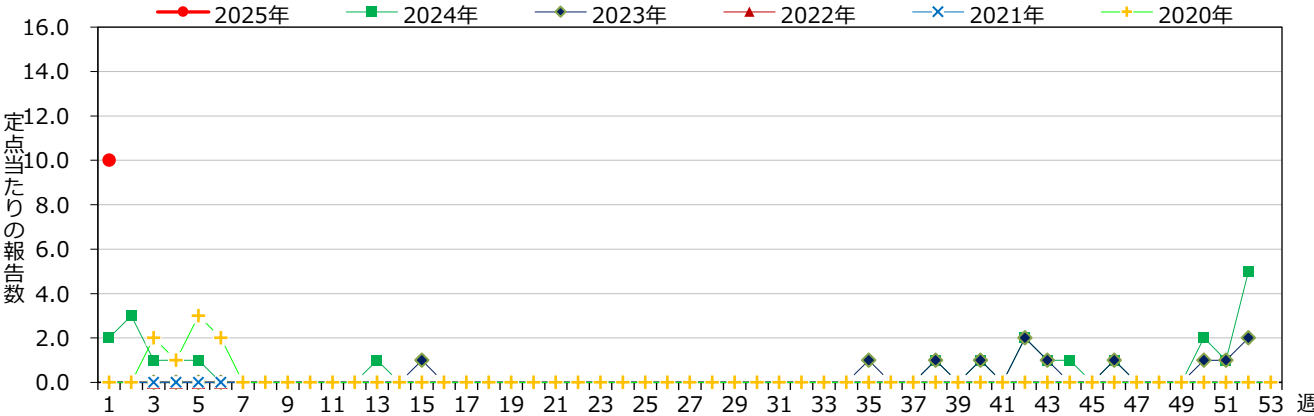
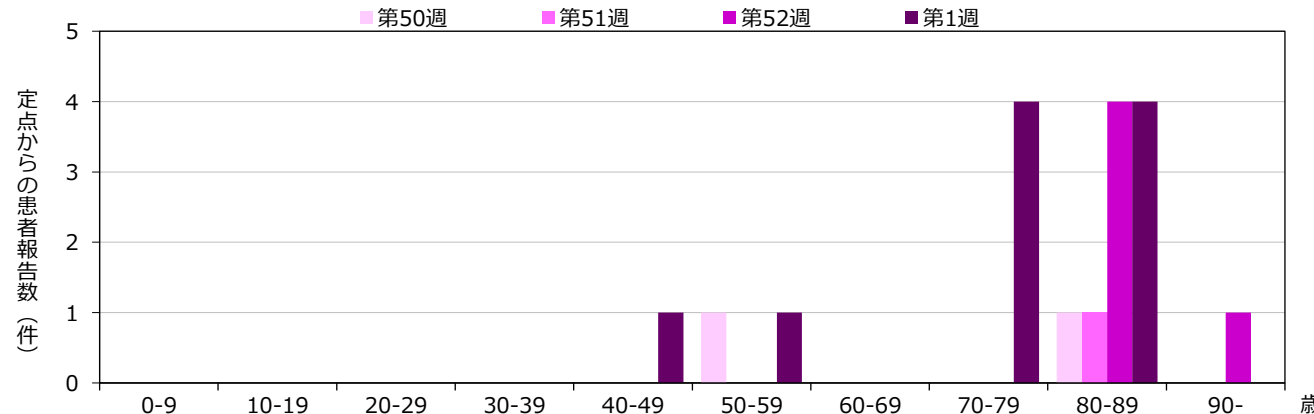


図2 年代別・定点からの報告数（インフルエンザ入院患者：直近4週分）



インフルエンザをはじめとする感染症の予防には、「手洗い」「マスクの着用を含む咳(せき)エチケット」などが有効です。

特に、高齢者や基礎疾患のある方が感染すると、重症化するリスクが高まります。高齢者と会ったり、通院や大人数で集まったりするときは、マスクの着用を含めた感染症対策へのご協力をお願いします。

また、インフルエンザワクチンには、発症をある程度抑える効果や、重症化を予防する効果があり、特に罹患すると重症化する可能性の高い高齢者や基礎疾患のある方などには効果が高いと考えられます。日本では、インフルエンザは例年12月から4月頃に流行し1月末から3月上旬に流行のピークを迎えますので、12月中旬までにワクチン接種を終えることが望ましいと考えられます。令和6年10月現在、インフルエンザワクチンについては、皮下投与の不活化ワクチン(インフルエンザHAワクチン)と経鼻投与の弱毒生ワクチン(経鼻弱毒生ワクチン)の2種類が国内で流通しています。インフルエンザHAワクチンは6ヶ月以上の者、経鼻弱毒生ワクチンは2歳以上19歳未満の者が対象となっています。

その他、適度な湿度の保持、十分な休養とバランスのとれた栄養摂取、人混みや繁華街への外出を控えるといった対策をすることが大切です。

詳細は、以下のリンク先を参照してください。

【令和6年度】今シーズンのインフルエンザ総合対策(厚生労働省)

<https://www.mhlw.go.jp/stf/index2024.html>

令和6年度インフルエンザQ&A(厚生労働省)

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/infuenza/QA2024.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/infuenza/QA2024.html)

「インフルエンザを予防しましょう！」(千葉市)

[https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/iryoeisei/kenkokikikanri/influenza\\_prevention.html](https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/iryoeisei/kenkokikikanri/influenza_prevention.html)

---

<参考> 千葉県感染症情報センター

<https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/index.html>